

CASE

03

伝統と革新で、ふるさとの味を発信

有限会社やせうま本舗 田口菓子舗

生菓子製造業



大分の郷土料理「やせうま」をより多くの人に、気軽に味わってもらうために、ひとくちサイズにアレンジした「豊後銘菓やせうま」を開発。1958年の誕生以来、自社で製造・販売を手がけている。大豆を自家焙煎、自家製粉した手作りきな粉など素材にもこだわり、保存料・着色料不使用。子どもからお年寄りまで安心して食べられるお菓子だ。また、竹工芸をイメージした包みや七島蘭の結び紐など、パッケージでも大分県をPRする商品で、全国菓子博覧会で多数の受賞歴や、明治神宮・靖国神社への献上など、全国各地でも高い評価を受けている。

コロナ 対策 レポート

旅行などの減少によって売り上げが減少したことから、県内企業6社共同で「OITA TRAVEL BOX」をクラウドファンディングで販売。“五感で楽しむ旅ギフト”として6つの商品を詰め合わせ、パンフレットのバーコードを読み込むと映像が楽しめる仕掛けにより、旅行気分を味わえると好評に。



未来への ステップ

県内での認知度アップを目指して、地元の人が日常的に食べたい商品「やせうまサンデー」を新発売。自家製粉きな粉を使ったソフトクリームにやせうまをトッピングしたもので、新しい消費者を獲得。今後も新商品開発に力を入れる。



有限会社やせうま本舗
田口菓子舗

住所 大分市大字光吉311
TEL 097-569-3247
URL <https://yaseuma.com>
設立 1951年 従業員 10人

伝統に立ち返り、原点を見つめ直す。 倉光酒造合名会社

酒類製造業

CASE
04



創業から150年以上。現在では大分市内に唯一残る造酒屋「倉光酒造」では、手をかけ、時間をかけた酒造りを徹底している。代表自らが杜氏として酒造りに取り組み、自身が納得した日本酒のみを商品として販売。味、香り、のどごしのバランスが整った「飲み飽きない日本酒」を追求するこだわりの一本には、根強いファンも多い。コロナをきっかけに、改めて伝統製法「山卸廃止酏」を取り入れた酒造りにも着手。あえて手間や時間がかかる製法によって昔ながらの日本酒を復活させることで、消費拡大へのチャレンジを始めている。

コロナ 対策 レポート

売り上げが減少する中、日本酒のもととなる「酒母づくり」において、伝統製法の「山卸廃止酏」を数十年ぶりに復活。昔ながらのずっしりとした重みや甘さがある日本酒づくりを再開した。手間暇のかかる製法だが、日本酒ファンからのニーズに応える商品づくりに精を出している。



未来への ステップ

大分市の補助金を活用し、温度制御が可能なタンクを導入。大吟醸などの高級酒の製造に着手し、消費拡大を目指す。また、酒造りをもっと身近に感じてもらえるように、一般の人が気軽に楽しめる「酒蔵見学」の受け入れ準備も進めている。



倉光酒造合名会社

住所 大分市森町825番地
TEL 097-521-2528

設立 1864年

CASE
05

自社製作・施工で実現する多様なテント 株式会社九州テント

テント・シート製造



お店の軒先にある、日よけ・雨よけテントから軽トラック荷台の幌や座席カバーなど私たちの生活の至るところにテントが使われている。株式会社九州テントはテント素材を使って様々なものを作るものづくり企業。九州トップクラスの縫製工場と技術力を兼ね備えており、縫製から鉄骨製作、現場取り付けまで一貫して自社施工。クライアントの要望をワンストップで解決している。30m×30mある巨大なテント倉庫の施工実績や施設や工場内の間仕切りなど多種多様な現場・ニーズに対応している。

コロナ 対策 レポート

3D加工できる高周波ウェルダを新たに導入し業務の幅をさらに広げている。簡単に広げたりたたむ事ができるプールや魚を養殖する為の水槽を製作する事ができるようになった。



未来への ステップ

2021年5月に大分営業所を開設し営業範囲を拡大中。今後は九州内の後継者不足に悩んでいるテント会社を引き継いだり、九州一円に拠点となる営業所の出店を計画している。



株式会社九州テント

住所 大分市生石3-2-2 P-BOX BLD45 106
TEL **0979-64-9902**

URL <https://www.kyushu-tent.com/>

設立 2020年 創業 2017年 従業員 7人

感動を生むオリジナルグッズ製作 株式会社 イトダネーム

刺繍・プリント加工、販促グッズの製造販売

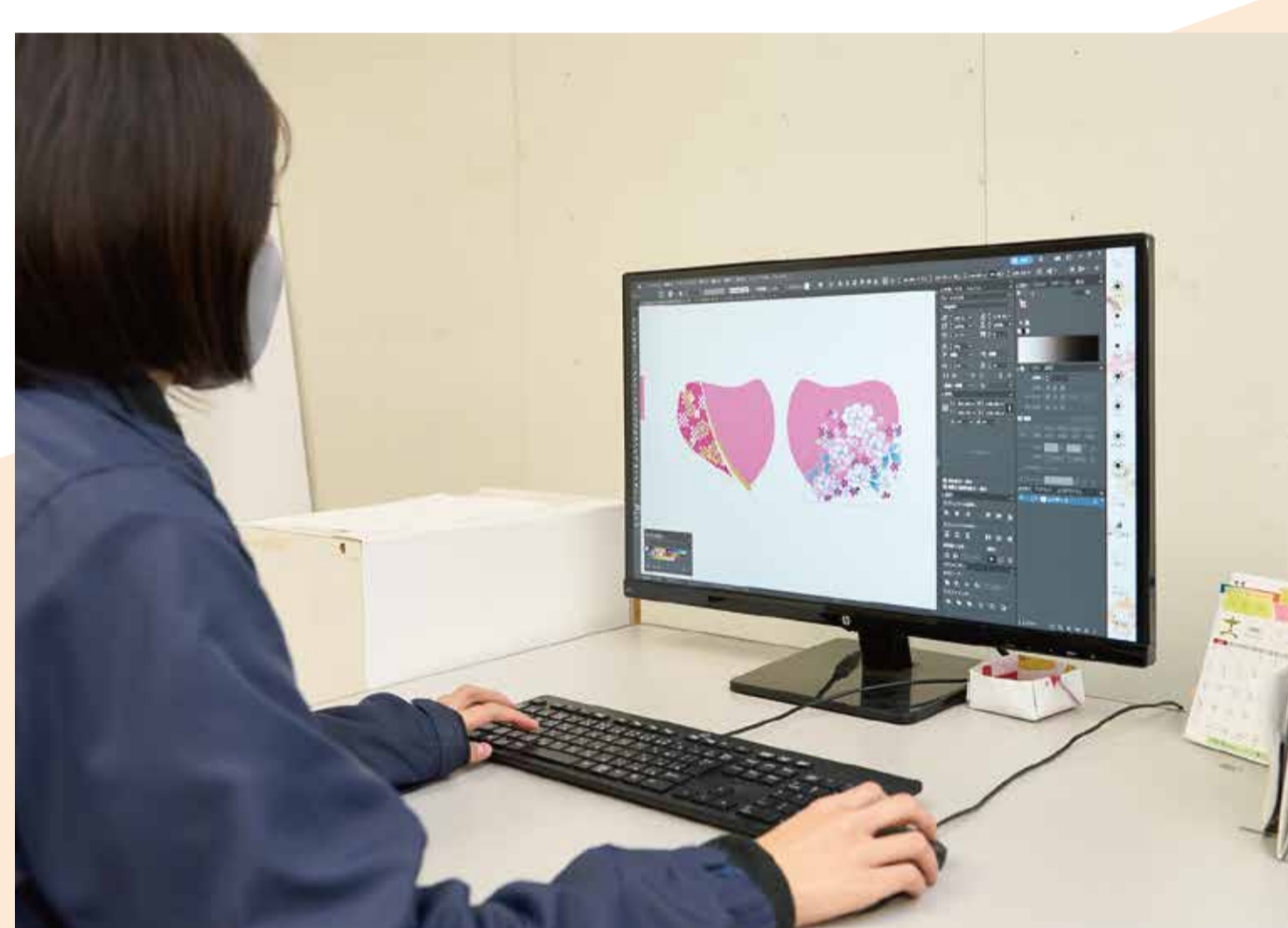
CASE
06



企業、学校、スポーツチームなどのオリジナルグッズやノベルティなどを手がける。創業から続く刺繍技術を駆使したデザインのほか、プリントによるデザインも可能。現在は衣料品への二次加工の依頼も増えていて、刺繍、プリント、圧着加工でオリジナルグッズづくりを行っている。福岡、東京、大阪、沖縄にも営業所を構え、全国各地からの依頼に対応できるほか、デザインや素材選びなども一貫して請け負うことができる。「感動と興奮」をテーマに、期待や要望を形にする「世界にひとつだけのものづくり」をサポートし続ける。

コロナ 対策 レポート

いち早く布マスクの製造を開始し、マスク不足の解消に取り組んだ。また、夏用マスクとしてポリエステルマスクの製造にも着手。オリジナルデザインを施したマスクは、企業や学校などからロゴ入りマスクの製作依頼につながるきっかけとなり、新たな商材として販路を拡大した。



未来への ステップ

新たな設備投資を行い、これまでアウトソーシングしていた工程の内製化に向けて取り組んでいる。小ロットでの注文などより細かな要望にも応えられるようになるほか、新たな人材の確保によって地域の雇用創出にも貢献する。



株式会社 イトダネーム

住所 大分市弁天1-4-33
TEL **097-533-0154**
URL <https://www.itoda-m.com/>
設立 1969年
従業員 63人(うちパート19人、アルバイト2人)

CASE
07

熟練技術と対応力で、可能性を拡大 協和包材株式会社

フィルム印刷・製袋加工・各種包装資材販売



包材(パッケージ)をメインに、袋メーカーならではのノウハウを活用しながら、企画・デザイン・製造まで一貫して受注できる体制を完備。小ロット・多品種・短納期など、地場企業ならではの細かな対応力で要望に応えられるほか、大分県内に持つ独自の物流ルートによって、地域に根づいた包装資材問屋としての役割も持つ。「お客様向上の入口から出口まで」をモットーに、生産工場のシステムレイアウトやメンテナンスも請け負っている。また、環境配慮製品の導入にも取り組んでおり、現代の課題に対応する資材提案に力を入れている。

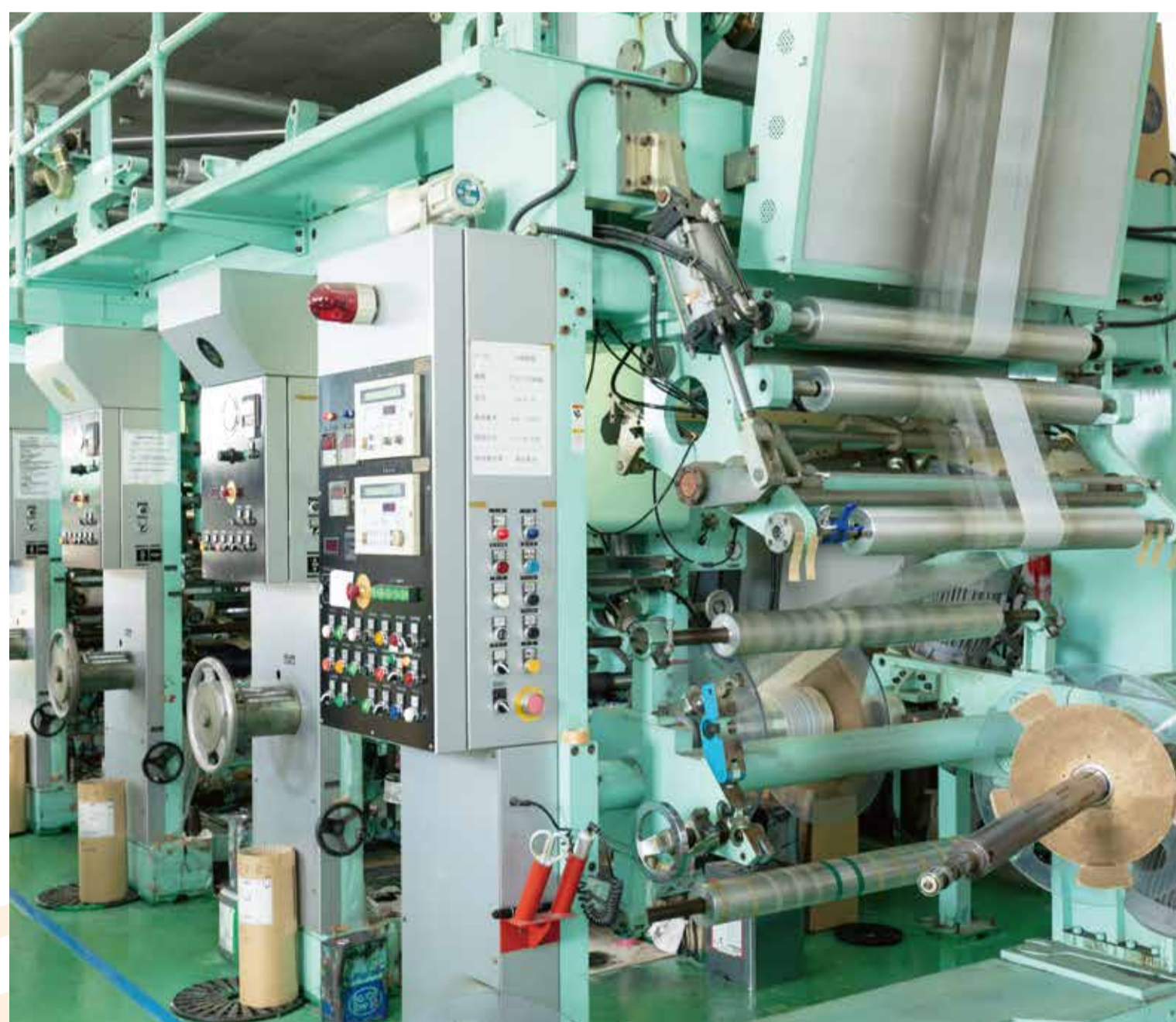
コロナ 対策 レポート

新型コロナウイルス感染拡大によって防護服の欠品が相次いだことから、ポリ袋加工機で製造できる簡易防護服を新たに開発。同様の設備を完備するポリ袋メーカーなど同業者が量産できるように、製造方法や図面は製品販売と同時にHPで公開し、全国的な品不足の緩和に貢献した。



未来への ステップ

コロナを機に新商品開発に取り組んだことで、新市場への展開も見えてきた。ものづくりの面白さを再発見するきっかけとなり開発意欲も醸成。これまでの強みを生かしながら、自社製品の開発によって地域や業界に貢献していく。



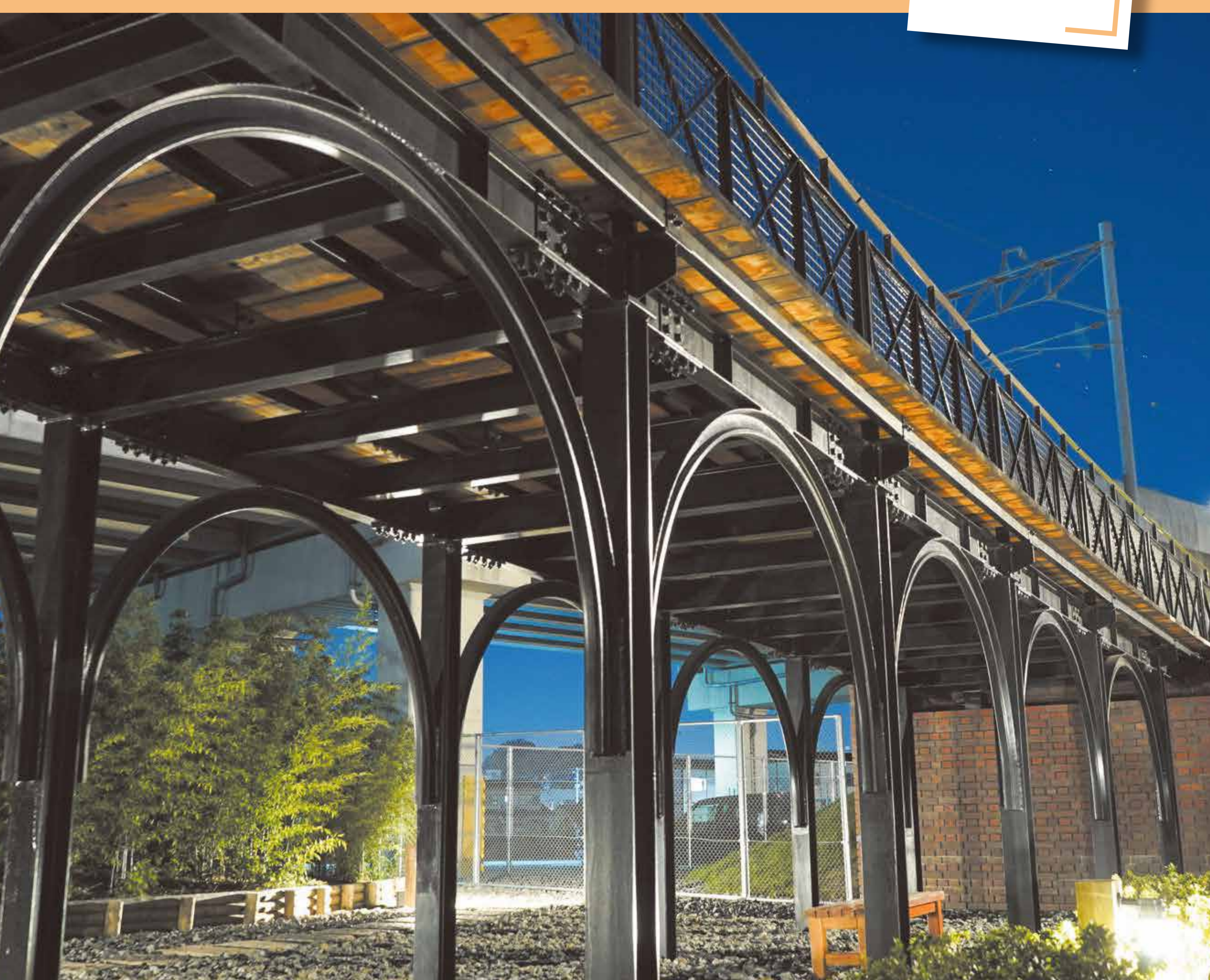
協和包材株式会社

住所 大分市畑中5丁目3-32
TEL 097-543-3333
URL <https://www.kyowa-p.com/>
設立 1959年 従業員 27人

鋼材加工専門。「曲げ」は中村へ。 有限会社 中村設備工業

各種鋼材の切断・曲げ加工

CASE
08



大分県内を中心に、九州各地のインフラ整備事業に貢献し続けて50年以上。各種鋼材加工を得意とし、中でも「曲げ」の技術に定評があり、「曲げは中村」と業界内でも信頼が厚い。ロール曲げ、角度曲げ、リング曲げなど、さまざまな仕様に対応。特殊な依頼にも応えられる自社設備と、長年の実績で積み重ねてきた職人技術も持ち合わせていることから、細かな要望への迅速対応が可能だ。ベテラン、若手、女性と広い視野を持って製品づくりに取り組みながら、地域を支える大黒柱として、さらなる技術向上と地域貢献に努める。

コロナ 対策 レポート

工業用製品の製造で培われた「曲げ」の技術を採用したインテリア製品の製造に着手。同社が手がける無添加

生食パンと和菓子の店「news DELI Bakery」のインテリアに採用し、一般客にも広く周知されるきっかけになった。10月に別府餅ヶ浜店(2号店)オープン。今後も店舗数の拡大を目指しており、飲食と設備の相乗効果を狙う。



未来への ステップ

インテリアや生食パン専門店など、新事業への挑戦によって新たな顧客を獲得。これまでに得られなかったニーズを知る機会も増えたことで、従来の鋼材加工業や製造業へのヒントになるアイデアも生まれ、企業全体の成長につなげる。



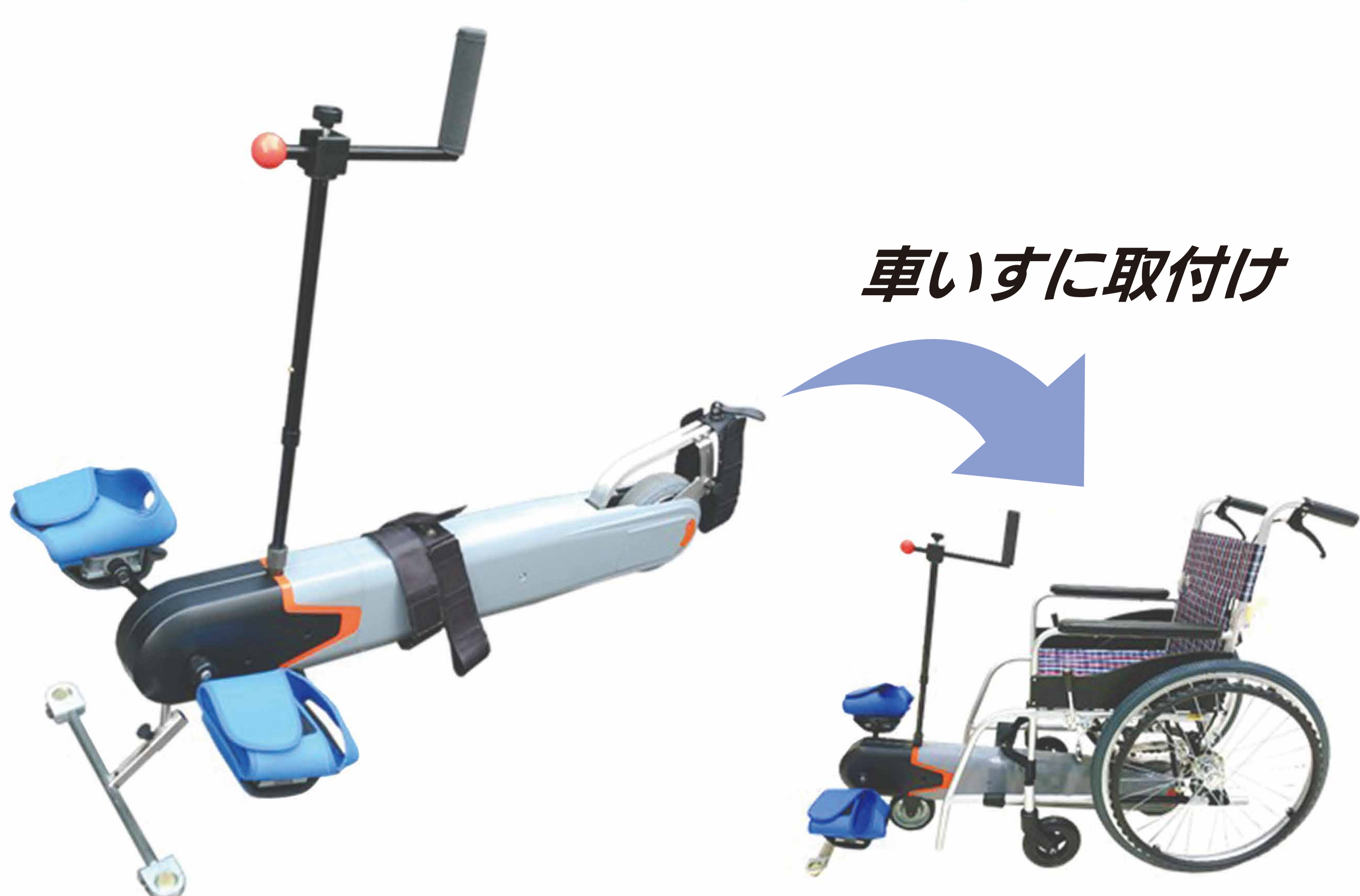
有限会社 中村設備工業

住所 大分市原川1-1-16
TEL **097-551-3218**
URL <https://nakamurasetubi.co.jp/>
設立 1969年 従業員 30人

CASE
09

医療介護福祉業界への参入で販路を開拓 株式会社 AKシステム

医療・福祉機器開発・製造

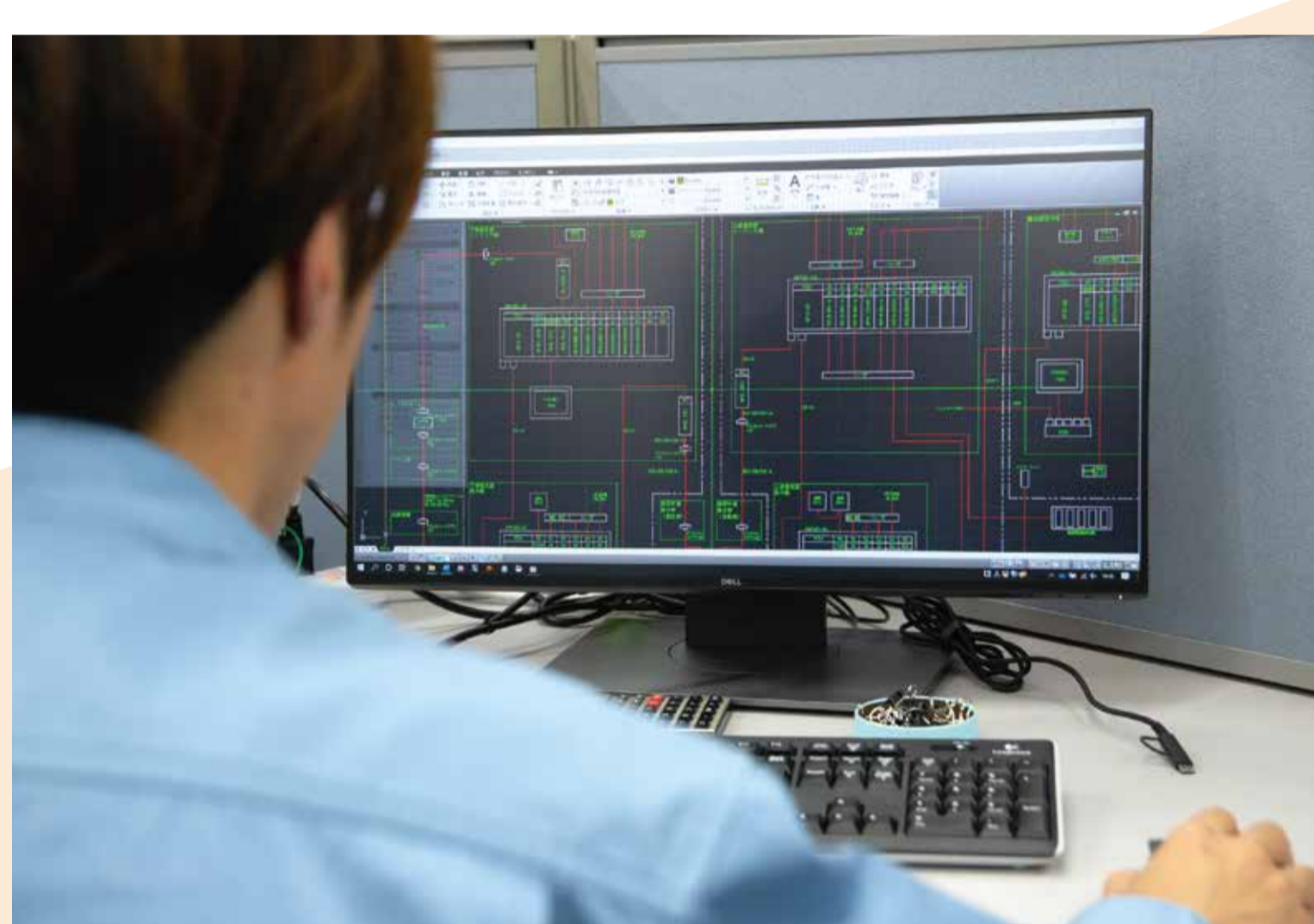


車いすに取付け

自動省力化装置、各種ロボットシステム、電気制御盤などの設計・製作・アフターメンテナンスまで、一貫体制で対応。半導体・自動車・鉄鋼などの工業分野で培ってきた技術を各分野でも応用しながら、完全受注生産によって細かなニーズにも応える。板金、塗装、組み立てなども担っており、安定した品質管理を実現。2018年からは、これまでの社内技術を新しい分野へと活かすために、医療・福祉機器の製造開発にも乗り出した。利用者と介助者の双方が明るく快適に使える機器の提案により、地域・社会貢献にもつながっている。

コロナ 対策 レポート

車椅子用足こぎユニット「こいじゃる!」を改良し、2020年に2号機を発売。同年、車椅子用安全ストッパー「ピタッとストッパー」も開発し、多くの現場で採用されている。営業手法に動画コンテンツやWEBツールを活用したことで、新業態や遠方からの問い合わせも増加し、事業開拓につながった。



未来への ステップ

生産人口の減少が進む中、さまざまな現場での機械化はさらに加速することが予想される。自社一貫体制だからできる応用力やスピード感を武器に、大手半導体設備メーカーの制御盤サプライヤーとしての実績と技術で期待に応える。



株式会社 AKシステム

住所 大分市須賀2-11-24

TEL 097-582-3311

URL <https://www.aksys.co.jp/>

設立 1998年 創業 1971年 従業員 98人

製品を通じて地域貢献できる企業へ 日本ヒューマンメディク株式会社

医療機器製造・販売

CASE
10



大分県第一号の医療機器製造販売業として、ギプス・人工関節・手術部位の洗浄器など整形外科関連製品を製造。マスクや手袋などの感染対策関連製品も製造しており、自社オリジナル製品やOEM依頼も受注している。「現場に寄り添う姿勢」を大切にした製品は、ディーラーを通じて全国約400の病院や介護現場で利用されている。海外5カ国で製造していることから安定供給が可能で、コロナ禍で起きた品不足にも迅速に対応。製造能力や高い技術力について経済産業省や大分県から表彰を受けるなど、業界でも大きな信頼を得ている。

コロナ 対策 レポート

以前から製造販売を行っていた感染対策関連製品の受注増加に加え、フェイスシールド、化学防護服、プラスチックガウンなどの新製品をいち早く開発し、全国の医療現場へ提供。受注が大幅に増加したが、これまで構築してきたネットワークにより、安定した供給量を確保した。



未来への ステップ

医療現場の声や、その先の患者さんの思いまで意識しながらの製品づくりだけでなく、自社オリジナル製品の増加に向けた取り組みも強化。「大分から全国へ」の構図をさらに拡大することで、地域への貢献にもつなげる。



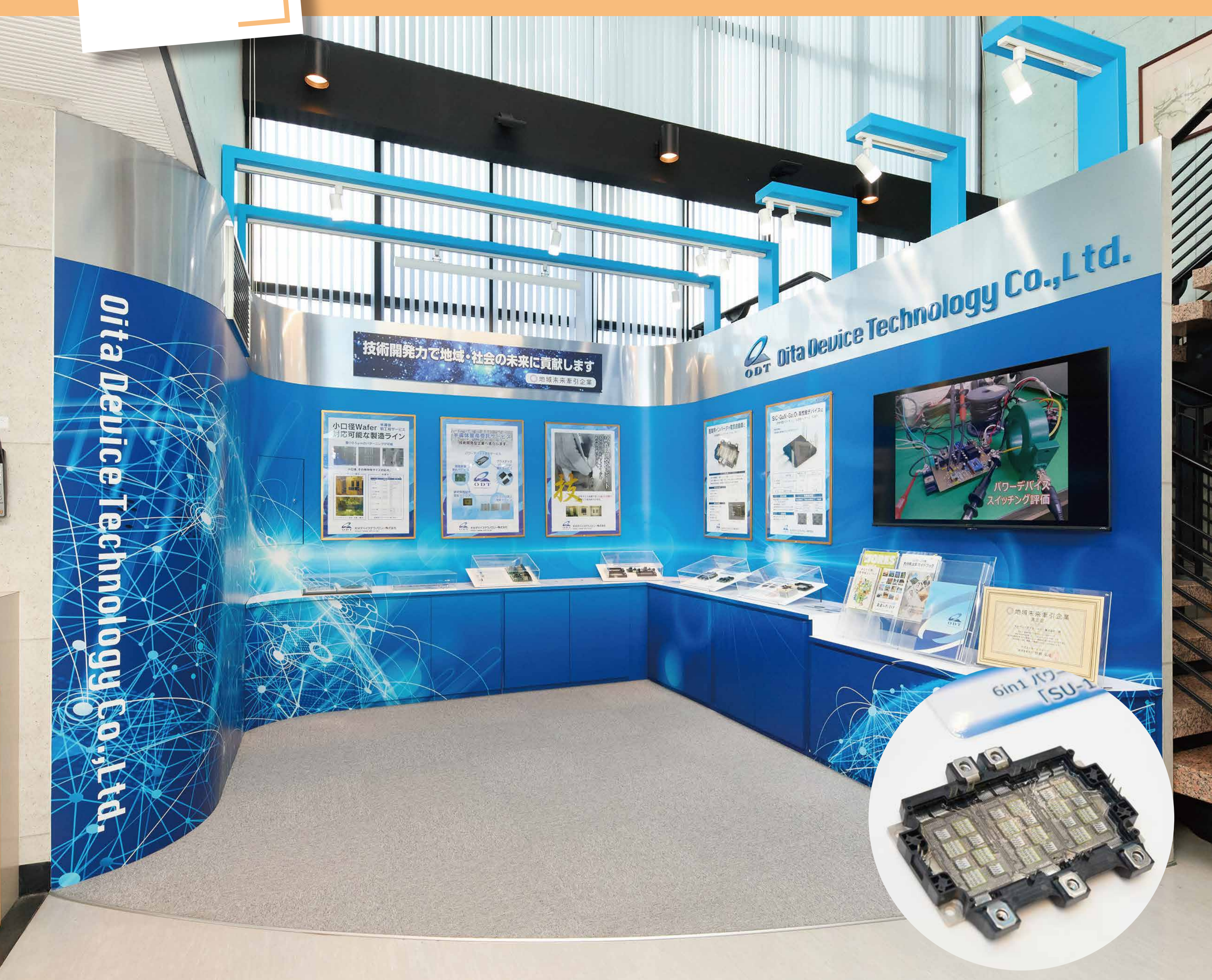
日本ヒューマンメディク
株式会社

住所 大分市賀来北2丁目16番34号
TEL 097-549-4140
URL <http://www.hyuman.co.jp/>
設立 1993年 従業員 25名

CASE
11

暮らしを支える高品質半導体を製造 大分デバイステクノロジー株式会社

半導体製造・試作

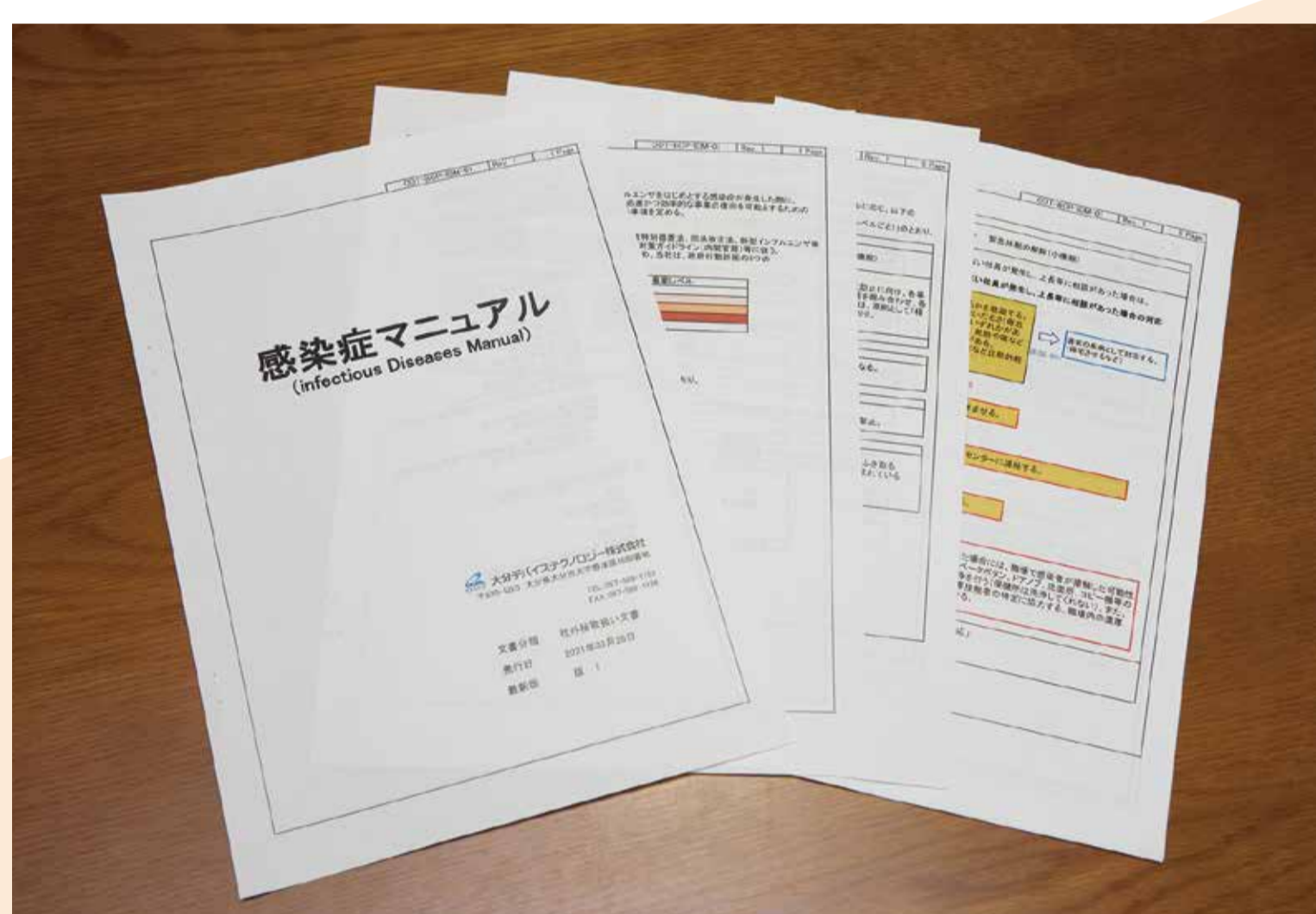


50年以上にわたる半導体製造事業によって培われた製造技術や品質力を活かし、現代の便利な暮らしを支えている企業。高い技術をもつエンジニアが集結し、それぞれの能力を自由に発揮することで試作や開発のサポートが可能で、設計から製造まで一貫して請け負うことができるのも同社の強み。過去20年間で国内外300社、約6000件の実績を重ねてきた。近年では、EV車などに使用される高電圧・大電流対応の「パワーデバイス半導体」の製造開発にも力を入れていて、SDGsに寄与するキーデバイスを手がける企業としても注目を集めている。

コロナ 対策 レポート

大分県のBCP策定支援を活用し、社内BCP規定を改定。実行しながらよりよい環境づくりに着手した。

中でもネットワークの強化を行ったことは、商談や打ち合わせのリモート化を加速させ、これまで現地へ出向く必要があった営業や生産業務確認などが減り、仕事の効率化につながった。



未来への ステップ

2020年に第三工場を新設し、パワー半導体の量産体制を拡大。顧客動向を見極めながら、事業拡大を目指している。作業請負型から技術開発型の企業へと進化した今、大分のものづくり企業として地域社会に貢献する企業としても成長を目指す。



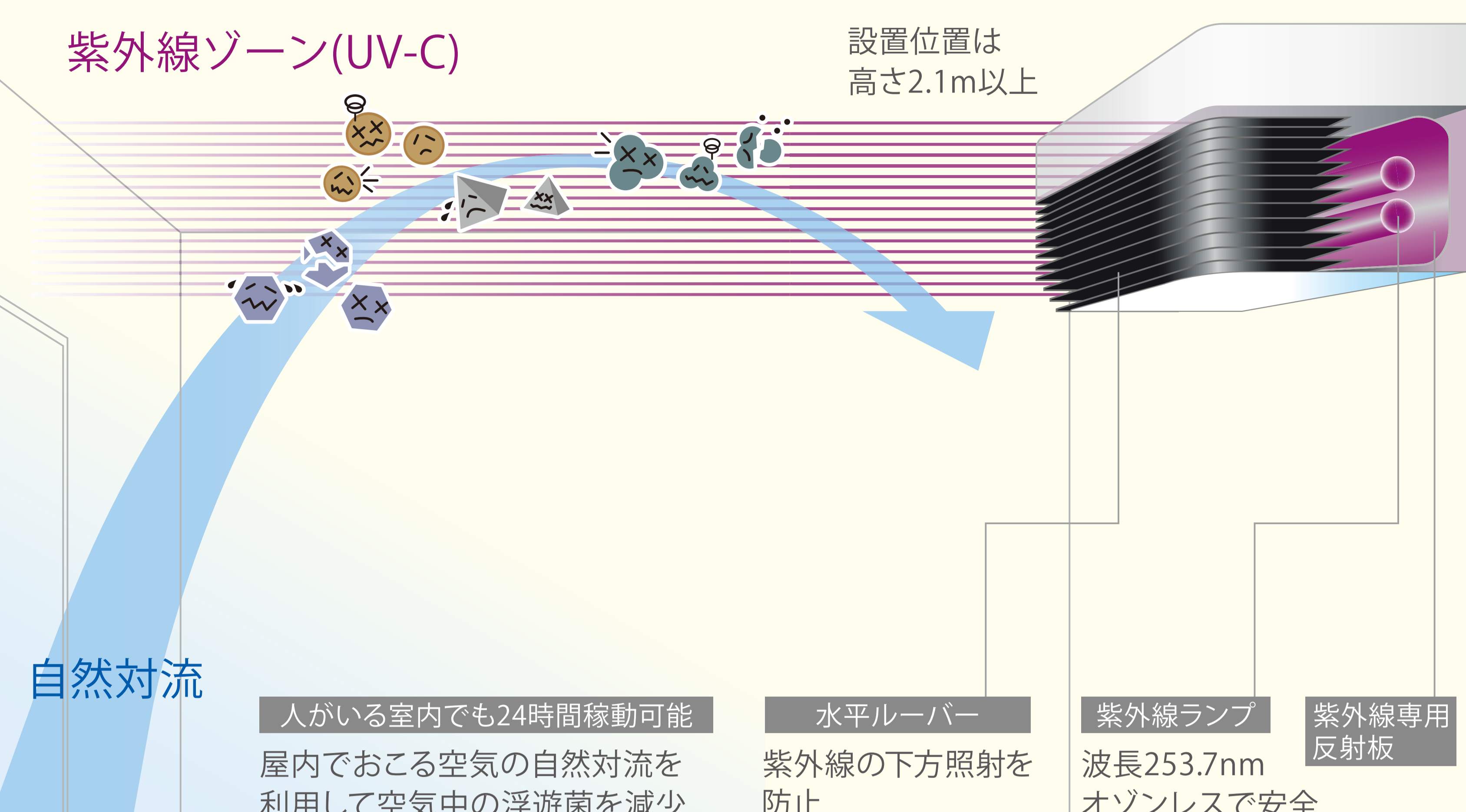
大分デバイステクノロジー
株式会社

住所 大分市大字野津原1660
TEL **097-588-1153**
URL <https://www.odt.co.jp/>
設立 1973年 創業 1970年 従業員 141人

うつくしい空気で本質的な空気環境対策へ エアロシールド株式会社

製造業

CASE
12



エアロシールドでの紫外線照射による浮遊菌減少のしくみ

コロナによって感染症対策への意識が高まる以前から、さまざまな実証実験を積み重ね、紫外線による空気環境対策に取り組んできた。自社開発の紫外線照射装置「エアロシールド」は紫外線の中でも浮遊菌やウイルス減少に高い効果をもつUV-Cランプを使用し、感染症対策に対するエビデンスがある。医療現場での空気環境対策や食品工場における衛生管理など、あらゆる分野のコンサルティング力と高スペックの製品によって、健康に過ごせる空間づくりを提案する。

コロナ 対策 レポート

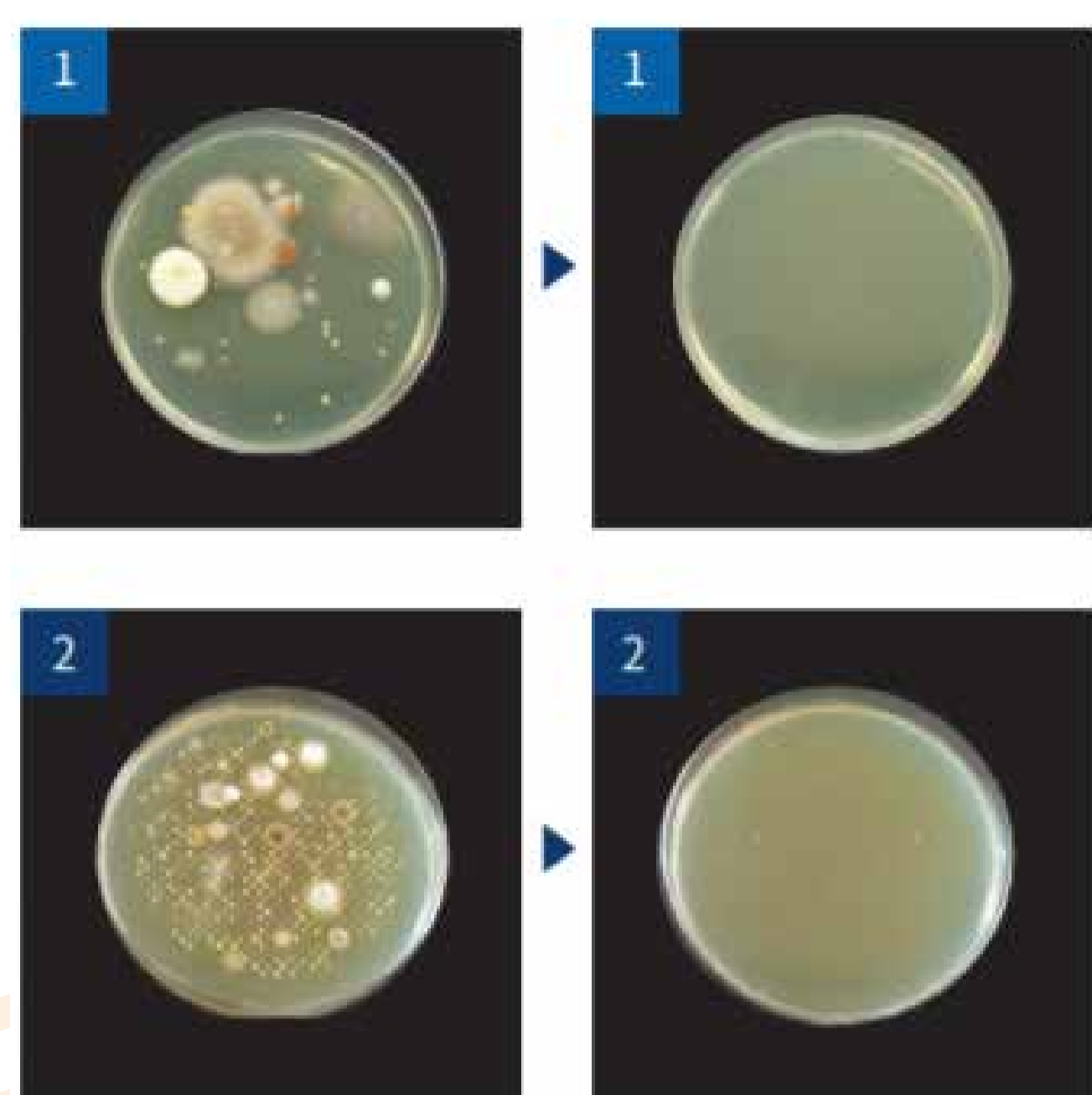
コロナウイルス感染症への効果に対する問い合わせが増えたことから、実証実験を実施してその効果

を確認。官公庁、公共施設、病院などに次々と導入されているほか、新たに開発した「救急車搭載用エアロシールド」は大分県内の救急車に導入。狭い空間での空気環境対策として注目されている。



未来への ステップ

バスや電車など、人が密集して長時間移動する空間で乗客や乗務員を守る製品の開発を予定。国内のみならず世界進出も視野に入れながら製品開発を進めており、「世界の空気をうつくしくすること」を使命として、空気環境対策に取り組む。



エアサンプラーを導入施設で使用し、浮遊菌を補修・培養した結果
1 保育施設/平成26年10月18日実施(右は約48時間後)
2 医療施設/平成23年4月20日実施(右は16時間後)

エアロシールド株式会社

住所 大分市大字木上394-12
TEL **097-588-8120**
URL <https://www.aeroshield.co.jp/>
設立 2006年 従業員 14人